

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	IQLino宝塚校		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		2024年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	57	(回答者数) 41
○従業者評価実施期間	2025年1月6日		2025年1月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの立案をチームで行っていること	朝礼時での打ち合わせや、療育後の話し合いを通じてチームでプログラムを立案しています。	今後も変化に富んだプログラムの実施ができるよう、チームで取り組みます。
2	支援後に職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等共有していること	支援後、必ず振り返りを行い、職員間で情報共有を行っています。	今後も職員間で打ち合わせや振り返りの時間をとり、子どもの特性や発達に合った支援を行います。
3	多くの分野について、社内研修を実施していること	虐待、感染症、支援の記録の仕方、応用行動分析に基づく具体的な支援方法、パソコン操作スキルなど、多岐にわたる内容の研修を実施している。	研修を実践に活かすことができているかを評価し、より必要な知識やスキルに特化した研修を実施することを検討しています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会が不十分であること。 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図れていないこと。	必要に応じて連携をすることに留まっており、地域交流等までの準備が不十分であるため。	今後、地域の活動に参加する機会を検討していきます。
2	親子イベント時に保護者交流会を開催し、交流する機会を設けて支援を行っているが、きょうだい同士で交流する機会は設けられていないこと。	感染症対策もあり、イベント時における入室人数の制限を設けていたため。	今後は日曜日のイベントの日にきょうだい同士で交流する機会を設けられるよう検討していきます。
3			